

給排気グリル 工事説明書

給排気グリル	品番	FY-GWV023
--------	----	-----------

この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



してはいけない内容です。



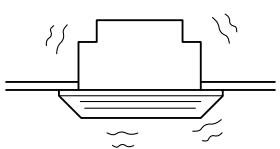
実行しなければならない内容です。



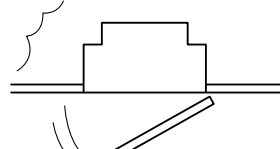
注意

■本体は、十分強度のあるところに
にしっかり取り付ける

■部品は確実に取り付ける
にしっかり取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。



落下により、けがをするおそれがあります。

■炎があたるおそれのある場所には
取り付けない



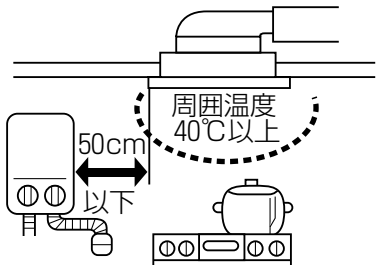
プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。

禁止

お願い

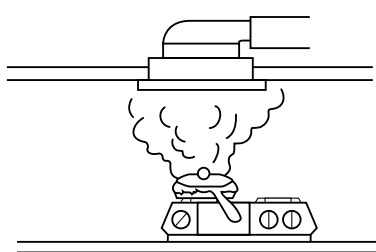
■高温になる場所で使わないでください。

グリル変形の原因となります。



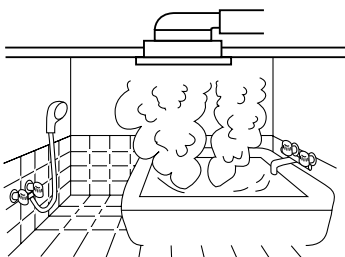
■台所など油煙の発生する場所で使わないでください。

グリル破損の原因となります。



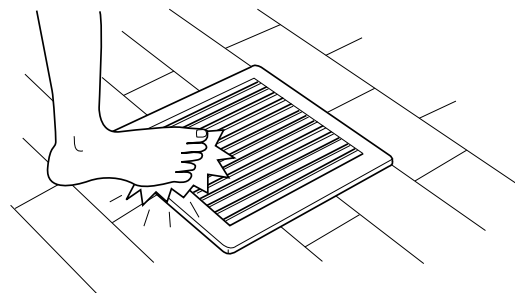
■湿気や水のかかる場所で使わないでください。

さびの原因となります。



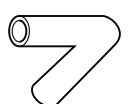
■(床取り付けの場合)物を上にのせたり踏みつけるような場所には取り付けないでください。

ルーバー破損、つまずきの原因となります。

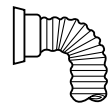


■次のような配管工事はしないでください。

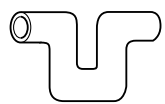
(1) 極端な曲げ



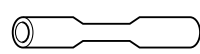
(2) 吐出口のすぐそばでの曲げ



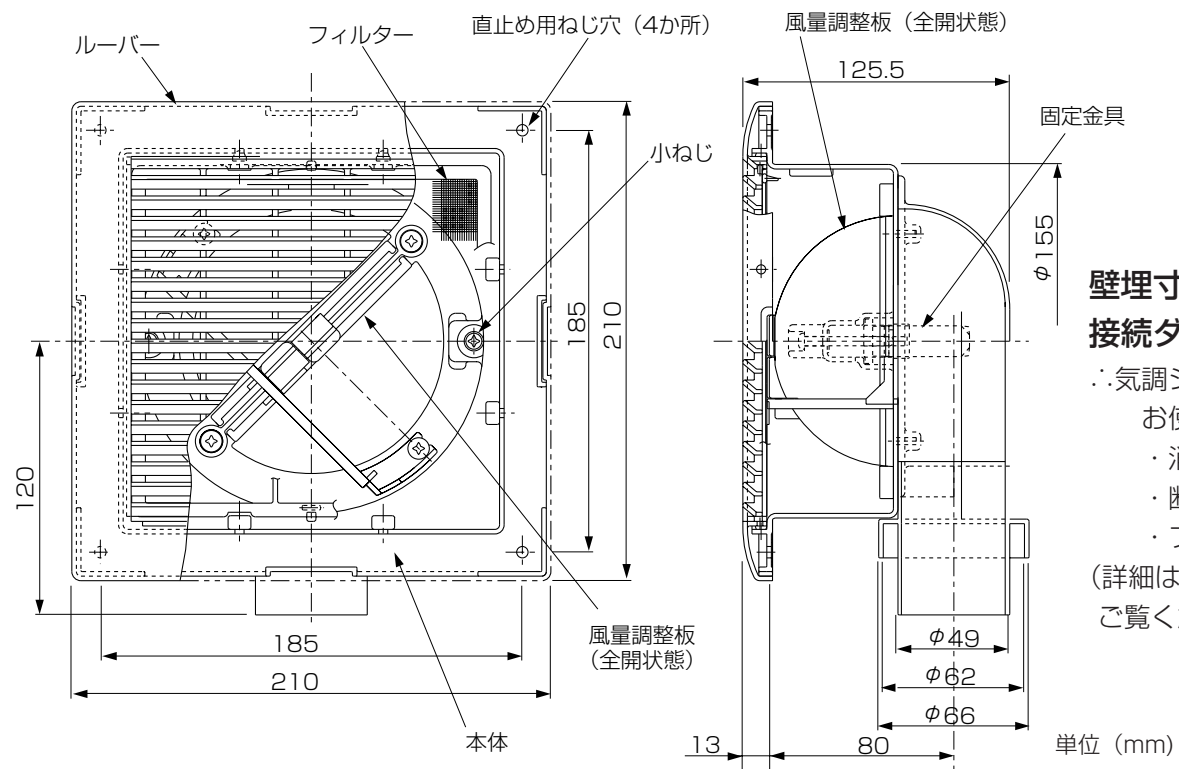
(3) 多数回の曲げ



(4) 接続ダクト径を小さくする



各部の名前と寸法



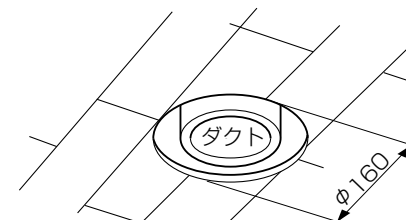
壁埋寸法 : $\phi 160$
 接続ダクト : $\phi 50$
 ・気調システム用の専用ダクトをお使いください。
 ・消音断熱チューブ
 ・断熱フレキダクト
 ・フレキダクト
 (詳細は気調システム専用カタログをご覧ください)

施工方法 以下の手順にしたがって施工してください。

●本品は天井・床材(厚さ: 6mm ~ 30mm)に直接取り付けるタイプのものです。

①取り付け穴工事

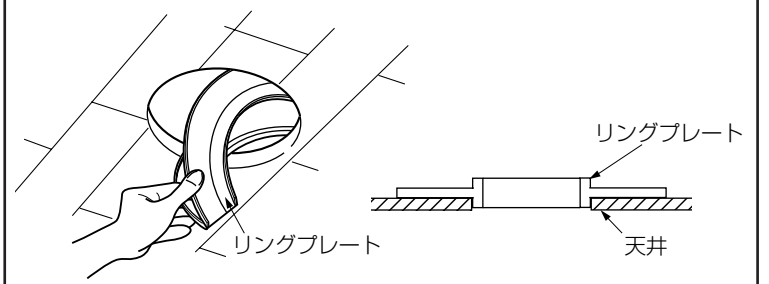
●取り付け位置に $\phi 160$ の丸穴をあけ、ダクトを配管する。
 (穴あけは野縁など木枠から50mm以上離して行ってください。)



●リングプレート(別売品)FY-KTP04をご使用の際は、 $\phi 160 \sim \phi 165$ の穴をあけてください。

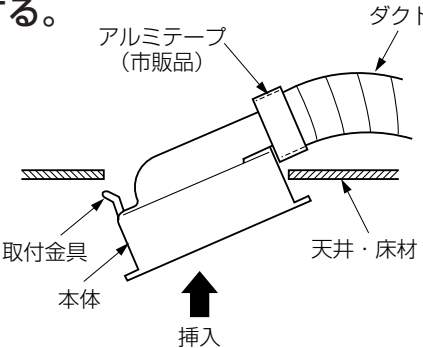
②リングプレートを使用する場合

●あけた穴にリングプレートを折り曲げて入れて、天井裏に置く。
 $\phi 150$ チューブを接続する場合には使用できません。



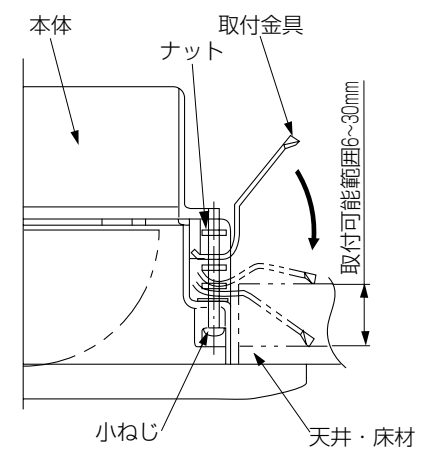
③ダクトの接続

●ダクトを取付穴より引き出す。
 ●ルーバーを取りはずす。
 ●ダクトを差し込み、市販のアルミテープを巻いて固定する。
 ●取付金具を立てた状態で、取付穴に本体を挿入する。



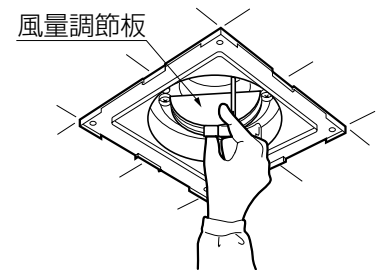
④本体の天井・床材への取り付け

●内側の2コの小ねじを回すと取付金具が下図のように移動します。小ねじを確実に締め付けて固定してください。



⑤風量調節のしかた

●風量調節をする場合は風量調整板を押して、開口面積を調節する。
 (工場出荷時は風量調整板が全開となっています。)
 (90°以上回さないでください。)
 (破損する恐れがあります。)

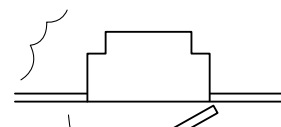


⑥ルーバーの取り付け

●「パチッ」と音がするまで押し込んで固定する。
 (吹出し方向を選択して取り付けてください。)



■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

